

資料提供

令和元年 5月16日 (木)	
照会先：保健福祉部疾病対策課 健康危機管理対策室	教育庁保健体育課 健康教育推進室
担当：技佐兼室長補佐(技術総括) 深谷 均	室長補佐 栗橋 剛

感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎を疑う嘔吐・下痢の発症者が 30 名以上の集団発生がありました。

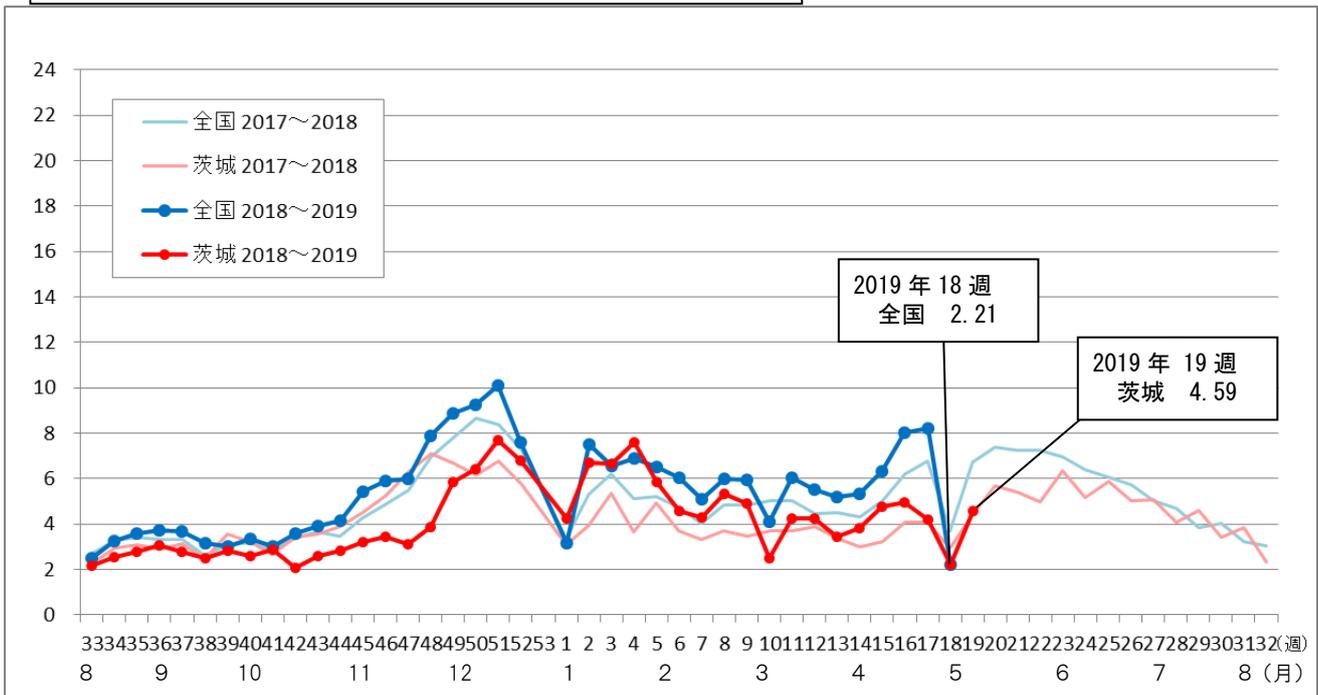
○ 土浦市立土浦第四中学校 (詳細は別添)

感染症発生動向調査による感染性胃腸炎の流行状況は、以下のとおりです。

2019 年第 19 週(5月6日～5月12日)の定点当たり患者報告数：茨城県 4.59

感染性胃腸炎は、例年、秋から春先にかけて患者数が増加しますが、1年を通じて注意が必要な疾患です。県民の皆様には、帰宅時・食事の前・トイレの後の手洗いなど感染予防の徹底をお願いいたします。

感染症発生動向調査 (定点当たりの患者報告数の推移) ※



◆値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

<参考>

◎ 茨城県内の感染性胃腸炎の集団発生状況

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
茨城県	14件	18件	18件	6件	17件	49件	9件	6件	2件

(注1) 集団発生状況は、医療機関・学校・社会福祉施設等において30名以上発生した件数を計上。

(注2) 2019年の茨城県の発生数は、今回の発生を含んでいます。

※感染症発生動向調査 (定点当たりの患者報告数の推移)

感染性胃腸炎は定点把握疾患であり、県が指定した県内 75 か所の小児科を標榜する医療機関を定点として指定し、その定点の医師から1週間に感染性胃腸炎と診断された患者数を保健所に報告いただいている。その患者数の総数を定点数 (75) で除した数字で流行状況を把握している。(感染性胃腸炎 警報発令基準：20 警報解除基準：12)

集団発生事例

土浦保健所管内 つちうらしりつつちうらだいよん 土浦市立土浦第四中学校

学校長名	<small>ねもと だけし</small> 根本 正	所在地	<small>つちうらしなかなたかつ</small> 土浦市中高津三丁目 10-4		
主な症状	嘔吐, 下痢, 発熱, 腹痛	生徒数	600 名	職員数	48 名
発症者の状況	5月10日に土浦市立土浦第四中学校より土浦保健所へ報告があり探知。土浦保健所で調査したところ, 5月8日から5月16日までに嘔吐・下痢等の症状を呈した生徒・職員があわせて, 30名となったことが判明しました。この嘔吐・下痢等の症状による入院者・重症者はおらず, 発症者は全員快方に向かっております。				
検査及び結果	県衛生研究所で3名(生徒1名, 職員2名)の検体(便)を検査したところ, 2名(生徒1名, 職員1名)の検体からノロウイルスが検出されました。				

発生状況

(実人員)

	5/8 (水)	5/9 (木)	5/10 (金)	5/11 (土)	5/12 (日)	5/13 (月)	5/14 (火)	5/15 (水)	5/16 (木)	計
生徒	1	8	10	2	1	1	1	0	1	25
職員	0	3	1	0	0	0	1	0	0	5
合計	1	11	11	2	1	1	2	0	1	30

発症者の年代別内

(実人員)

生徒		7年生 (中学1年生)	8年生 (中学2年生)	9年生 (中学3年生)	計
	男子	11	4	2	17
	女子	4	2	2	8
	計	15	6	4	25

(25/600名)

職員		20歳台	30歳台	40歳台	50歳台	60歳台	計
	男性	2	1	0	0	0	3
	女性	0	0	1	0	1	2
	計	2	1	1	0	1	5

(5/48名)

学校の対応状況

- ① 嘔吐物の適切な処理, 消毒
- ② 校舎内の清掃・消毒の徹底
- ③ 手洗いの強化
- ④ 生徒及び職員の健康観察の徹底
- ⑤ 症状出現時の早期発見・早期対応, 早期受診
- ⑥ 保護者への注意喚起
- ⑦ 嘱託医・市教育委員会への報告・相談
- ⑧ 生徒及び職員へのマスクの配布・着用の勧奨
- ⑨ 部活動の中止(5/10~5/12)

感染性胃腸炎ってどんな病気？

ウイルスに感染して、胃や腸に炎症を起こす病気です。原因はノロウイルス、ロタウイルス、サポウイルス、腸管アデノウイルスなどがあります。下痢、嘔吐、発熱などの症状があるので、こまめに水分補給をして脱水症にならないように注意が必要です。

症状

感染すると1～3日でおもに下痢や嘔吐、ときには発熱などの症状がみられます。

予防策

- 手洗い
- 患者の吐物及び下痢便などの適切な処理
- 消毒（次亜塩素酸ナトリウム）
- 食品は必ず十分な加熱をしましょう。
- 調理器具はいつも清潔にしておきましょう。



発症後に注意すること

- 乳幼児や高齢者では下痢等による脱水症状を生じることがありますので、早めに医療機関を受診することが大切です。特に高齢者は誤嚥（嘔吐物が気管に入る）により肺炎を起こすことがあるため、体調の変化に注意しましょう。嘔吐の症状がおさまったら少しずつ水分を補給し、安静に努め、回復期には消化しやすい食事をとるよう心がけましょう。

- ◎ 感染性胃腸炎に関する詳細情報は、下記のホームページをご覧ください。
（感染予防のリーフレットも掲載しておりますので御活用下さい。）

「ノロウイルスについて」茨城県感染症情報センター ホームページ

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/norovirus.html>

「ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒の予防について」厚生労働省ホームページ

http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/qa/about_norovirus_qa.html